



海軍大臣の命令
 たるを以て之を
 行ふ事と爲す
 事なり

下傳きとていれさる
御代よりしるゑある
多きふいやはにさうそ
らるるにさうそ
伝法國志に於ては
幸人れしるれ縣
とらるるはのほ

は命とてあはれに
あはれとていれさる
君れ造を初めは
あつたれとてさうそ
はひふし所のみ下
アてハ木橋のさうそ
おひたしな

河乃河
は瓶の腹形
いそれ
か

文記の月源

凡例

一 凡哥を撰
るは
心
志
も
屋
等

酒中長

後野重義

子早振かれん

たふくちちう勢より

くらえねれー春

きしし里

滋林直重

多みらふと

あふれあふれ

さひま

かきふ

色丁

藤原直重

春と

いふ

らふ

かき

春風

はる

かえ

柳

はる

はる

春風

はる

春風

の

春風

はる

はる

はる

はる

源則一

いづれ乃は花を
本さしんわけく
もよあつたし
そりのたうそ
おしんく

正知

世盤のあま

いづれ

かゝるそ

いづれ

いづれ

源定央

いふのふたなり

くえん

虎とふと庭

乃夏軒

源之致

おのり

ふか

うき

世々

米

つらふと

婦人

源正雄

子と
沖波風

乃

あゝ乃

乃
帰
ぬ
ら
し

舟中書

ら
む
ふ
き
乃

者
あ
ら
む
乃

乃
い
な
夏
の

ら
あ

浪浪亭

忠興

人
山
海
波
の

浪
の

と
は
し
た
る
年

い
さ
り
一
年

浪浪亭

友
東
海
興

昔
傳
説
定
信
二
公
家

和
由
波
浪
仙
年
武
礼

古
馬
走
之
以
波
余

や
字
女
乃
下
東
海
興

元来

何れも好まむ
ふれも愛む
心もわく
果もあはれ

柳 心威

神楽の
心もわく
神もあはれ
心もわく

浪野守邦

来りてる也いと

と鼻乃う元

海平

印

源吉元波

や志賀の山路

とてえ

来此

しきうか

鳴の海

了

孝子

けいりく

しんりく

りく

しんりく

孝子

けいりく

しんりく

しんりく

しんりく

しんりく

大英寺

滑空回

何井を抜のそ
は心おろしれ

瑞
まかす

高平

うろた

大英寺

へーにふた

うろた

うろた

戸隠乃や

源末吉

源法寛

音書

上野

上野

上野

上野

上野

源威

女

上野

上野

上野

上野

上野

吉原の女

与川子

とあはれ

入江のあはれを御て

たふさふさ

とあはれ川の子

吉原の女

ちん子

ひふす

初瀬

今更

さうら

あはれ

とあはれ

けし

く乃 けし

本誓寺

釋法順

名正河内

あまのりやう

山のふもと

康姓

康原

米悦

秋

衣

秋

秋

秋

二

庄氏寶

源之萬治

沈氏

[illegible]

菅原公家

源朝男の月雨積

一々の七年

恋奴展成毛

多任美子

菅原公家

やふふのしる

なをさる

子部

よ葉つ心

之七子

金井月夜

風下

一

美

能

子

上之卷

のうへ

養能

常

矢野龍溪

袖

夏之夜

とふ

乃多半

あ

五

聖子

一 高麗寺

春也寺

榮城寺

壽子

すの松意院

則成寺

神也寺

川也寺

寺也流

平

民

成

多

少

山

法武

十

其

宿馬

源前昭

主五三

部

中
主
部

玉川

大

部

部

部

部

部

部

部

部

部

部

平

高寛

花の

大いし

さしむる

文し

源是安

月

軍

あ

あ

り

宗由
城の湯荒磯也

すゝめ言ふと磯

沖津玉の深の

よ歌かゝる
好む

かすみ柳舟の

若菜風ささる

おしりく

ア
子

秋貞

貞牧

ひらきもあま

よりたててく果

海とく北

やちくか

やちくか

はつれ

きくはる

ゆめ

あ

子

高橋信藏

英成

乃乃

元白乃乃

源齋

中娘

市川中
文化七年死

入思山記

ては山機を友

寸草人の志

源女春

浄蓮寺
文化七年遷

われりふんの

ののふらに

いふ

蓮乃

釋

寂玄

たひ

あふ

せり

浄蓮寺新表

風あふさふれ成る

身も心も

うきものそ者

浄蓮寺新表

高杉 寛政
文化七年 死

文實

己世の

あつた

ふつ

芥川や

は

娘

兄

きう

は

白川寛政

親實お

きう

は

きう

は

あきと

うらな

料の

うらな

平年度

ふく

うらな

流形と

流形と

市司の

雪と

うらな

うらな

うらな

くた 子 秋 乃 水 小 音 の
た 唇 の 出 書

し くら 子 くら 子 くら 子
くら 子 くら 子 くら 子

萬壑

平
江
中
系
波

月
唐

風
女
將

之
家

辛
友

かたき

小年

子年

沖風
藤原

乃演

之部

八

源
兼
統
秋
乃
神
志
上
下

行
乃
乃

行爲之要

平江贊

芳

五

之

夢

卷之六

之

一

七

何

あ

骨

田中理奇

邨

5

和

三

29

月

三

丁巳

田中

一

趙

11/3

今

官江古所
文九七已死

夜東窗

上上

妹

御乃

あつて

色

色

色

出

英那

山

雲

若根二

津

田中

月之神の

しほの夜を

しほの夜を

高木富

田中

しす

田中

し

穂

夏

田

しほ

の神

る井

け

大塚玄庵

礼

元

官人

藤

太

経波江乃入

乃入

大塚玄庵

大塚玄庵

乃入

乃入

乃入

乃入

而

月・神・清

重

多・家・世・
多・お・び・く・く

武

多・お・び・く・く

多・お・び・く・く

多・お・び・く・く

多・お・び・く・く

痛与奇

蘇東坡

有
 原
 付
 上
 量
 月
 理

并根松

うちを正す
風の如きは
心明
なり

結実の書

み

あ

乃子

ふ

は

夕風

あ

草

あ

大御書

夕

あ

水

あ

あ

あ

檀園先生

長

良

二四伎

於里

前

席九

松

合

座西

由美生

沙

夕日乃

流立

葉

高松先生

初鷹

差

心子

号

来

神

也

高松先生

金井玄好書

以知子
ワナ
カ
河

竹村屋馬書

は
月
心
寸

すゝ河

はる

かゝる

かす

ふ小舟

雲

春

橘

神

い

と

えん

はる

は

あ

三ノ沢村御

はま

山
の
か
ん
か

お
た
し
と
さ
ひ

出
部

上村御

も
ろ
心
棟

お
お
お

お
お
お

子

世

の

お
お
お

お
お
お

の

の

の

お
お
お

の

西園南

河川の

たまたま

か平

や

波重

郷

の

水乃

の

相沢郷助

沈香乃

玲

の

て

標

の

美奈はる

る

淑麻呂

今更に

源

幸宜

いづる

何より

之より

いづるより

格歸子

云々

あさきと

おろし

中あきと

新 英義

横井

紫

孔

笑

又

子

子

孔

正應

子

崔

契

安

子

巖

子

子

後田為幸

三子川波

かろく 七お貴

たぬと

ゆき

し乃の木

黄糸肉我

宮田家右

石隔山子字や

かろく

まゆ

源

識

雲の二

ん

心

者の

の

あつた

月夜

とて

う

孝

留

何花とて

秋平婦

花見

深茂樹

秋平

花見

いらしく

乃底

し高松のけ

下子

入相

源正矩

の

岩清子風のかき

新羅舟

流槎

浪石

清酒

舟

カキ

源定暗

婦の好く路の

志賀

あられを

花の法 穠く 句へ

婦の好く路の
志賀
あられを
花の法 穠く 句へ
人の好く路の
志賀
あられを
花の法 穠く 句へ
婦の好く路の
志賀
あられを
花の法 穠く 句へ

正人くぐりて
やうあることとてん
やうに居るやうに
負の如くはあや
なれどもなれども
しや、疾きもの
は

北村雄彦

光慶

津

はるる

わ

裁の

出

京子

何々々

何々々

何々々

何々々

何々々

何々々

何々々

何々々

何々々

新刊活

よみ

おきて

しる

しる

や

の

の

の

の

活

活

道

新刊活

滑観

滑

世

滑

滑

滑

滑

滑

滑

宜肥

雲海

うろく

はも

はも

あ

あ

あ

あ

長

秀

あ

恒河沙

宣月
神
心
を

小河

夜来

主

病

ま
の
心

神見学園女子大学短期大学部図書館

蔵03(2043)1366



1001860996

源葉紙
松島
神島

神島

松島

神島

源葉紙

松島

神島

